

領内出張所だより

93

一
新
の
季
節

春
う
ら
ら

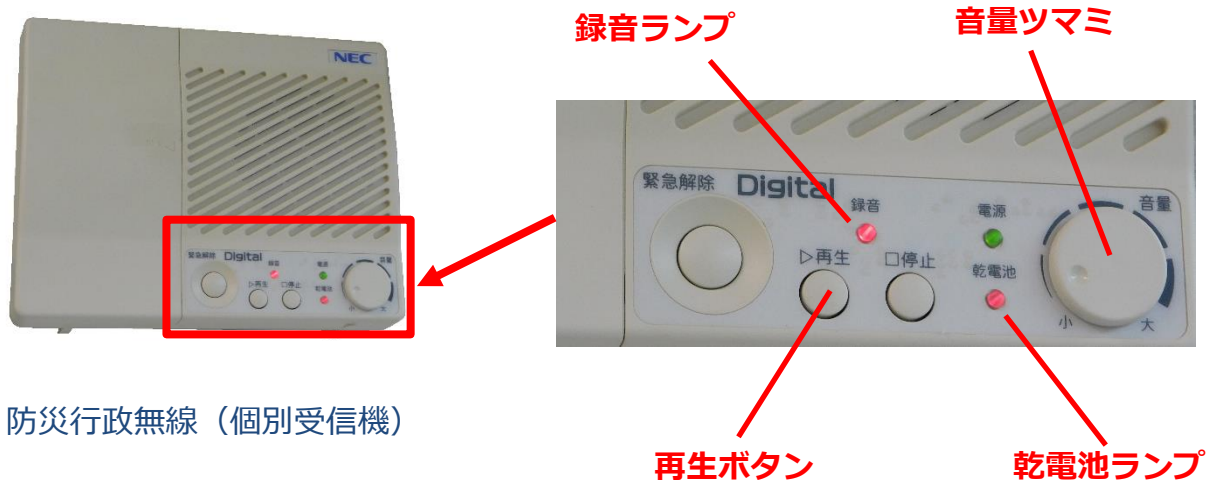


平成 30 年
(2018 年)

4月

情報をキャッチする

大台町では防災行政無線が各家庭に設置されていて、普段から行事などの連絡に使われています。また、区によっては従来の有線放送も併せて運用されています。テレビやラジオ、インターネットなどで得ることの出来る情報も大切ですが、住んでいる身近な地域のことは防災行政無線による情報を常にキャッチ出来るようにしておいてください。



普段の生活では音量が大きくて耳障りだからとついついボリュームを抑えてしまいがちになり、豪雨時や風の強い時などは放送音がかき消されて肝心の内容が聞き取れないことが生じてしまいます。そこで、各家庭に設置されている受信機に注目していただきたいと思います。小さい字ですが「録音」と記されたすぐ下のランプが赤く点滅していないでしょうか。これは今までに放送された内容が録音されていることを示します。電源スイッチを入れ直した場合や停電の後などでは消えてしまいますが、そうでなければ、「再生」ボタンを押さない限り、録音内容が受信機に保存されています。一度再生してみてください。その際、音が小さいと感じたら「音量」ツマミを時計まわりに回すと大きくなります。普段音量を抑えている家庭でも、大切な時にははっきりとした音で放送を聞くことが出来るように調整を心がけてください。

また、停電時に受信を可能にするために乾電池を入れておけるようになっています。充分な残量のある乾電池が正常にセットされている場合、「乾電池」ランプが赤く点灯しています。点灯していないと乾電池が消耗してしまっているか、正しくセットされていない状態です。受信機の左部分のカバーを外して、停電時でも使えるようにしましょう。なお、機器の性質上、このカバーが簡単に外せません。出張所に連絡をいただければ訪問させていただきますので、お気軽にご相談ください。



個別受信機の点検を今一度行いましょう



そなえ たくわえる
備蓄 6 つのこと



必要な時には音量を大きく出来るように



使いながら備える

そなえ たくわえる
備蓄 6 つのこと

この地域の自宅におけるテレビの視聴は現在はケーブルを使った“有線”になっています。したがって、テレビを外に持ち出して利用することは期待出来ません。ラジオの電波をキャッチ出来る備えをまずは考えましょう。古い新しいに関係なく、お手持ちのラジオが使えるかどうか確認してみてください。どこへ持っていっても使えるように電池などをチェックしておきます。



バッテリーパックを使ったラジオ

手回し式目覚ましラジオ

防災に関する道具やモノを探しているうちに面白いものを2点見つけました。

上の左側のラジオは電動ドライバーなどのバッテリーパックがそのまま使えて、スピーカーから大音量を流すことが出来ます。また、複数の携帯電話やスマートフォンへの充電も可能です。使ってみて多くの人が避難しているところでは有効な機器だと思いました。

右側のラジオは毎日起床するために使っている多機能ラジオです。裏面に手回しハンドルが付いていて、とても回しやすく設計されています。乾電池を入れるところもありますが、今まで使用したことがありません。たまに数分間回す程度で良いようです。電波時計ですし、LEDライトも付いていておすすめです。“普段使い”＋“備え”なので、持ち出しやすいモノとしてとても有効だと思います。

情報は正確でなくてはなりません。また、正確にキャッチしなくてはなりません。そのための備えをお願いします。常に**防災行政無線**と**ラジオ**、そして持っておられる方は**インターネット通信機器**が使える状態にしておきましょう。



情報をつかむためにも日頃から機器を使えるようにしておくのが大切です



次号は『救急箱』についてのお話です。



参加しませんか？

催しのお知らせ

ノルディックウォーキング歩こう会

第2回目は **新緑の 領内周辺** を歩きます！

スタート・ゴール は 領内地域総合センター です。

5月13日(日) 午前9時30分～11時30分

申込不要

飲み物やタオルなど忘れずに！

約5 kmのコースを設定しています。

雨天中止でも体育館にて体操会を開催します。

※ すでに回覧でお知らせした内容を再掲しています。



問い合わせ：役場健康ほけん課 82-3785

平成30年度の区長さんです

明豆 上岡勝男さん

大井 戸川昌二さん

小滝 平野正樹さん

南 小掠弘治さん

神滝 宮口忠司さん

唐櫃 山本守さん

滝谷 地崎賢治さん

よろしく申し上げます

おんがき

十年振りに救命救急講習を受けてきました。一日コースなので終了時には少し疲れてしまいました。体力もさることながら、集中力が長時間持続しなくなってしまうます。全身運動をしたり手先を動かす細工を試してみたりとさまざま試みますが、若い頃のようにはいかないのが現実です。講習では自身の能力に合わせた「今出来ること」をするのが大事だと感じました。ちょっと前なら力任せの結果オーライだったり、誰かが助け舟を出してくれていても気付くことなく過ごしていたかも知れません。みんなの力を結集して補い合えば、独りでは出来なかったことが小さな負担でやり切れてしまう、今回奥伊勢広域消防の皆さんに指導してもらってそれを再認識しました。みんなで協力し合うことで強くなるというのは地域もまた同じではないかと思っております。